2023 年度　各授業学習目標・授業目標　　科目名：2 年探究 D・サイエンス探究

高等部教育目標
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う
探究型カリキュラム教育/学習目標
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針　Five Principles for Learning
1. 自分事として　2. 社会/実践を通して　3.知識を大事に　4. ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを通して　5.生徒・教員が共に <ｵｰﾅｰｼｯﾌﾟ/一人称>　<PBL 型/ｱｸｼｮﾝ>　<自ら得る知識/高める関心>　<自分/他者のやりとり>　<共に探究する関係性>
上位学習目標
【知識・技能】 ・現在わかっている基本的な生命現象について、ミクロ（分子・細胞レベル）からマクロ（個体・生態系レベル）の知識を統合して説明できる ・サイエンスに関する論文・記事を読み、その内容を科学的に正しく説明できる 【思考力・判断力・表現力】 ・疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる ・得られたデータを客観的・論理的に考察し、一連の研究をプレゼンテーションや論文でアウトプットできる ・サイエンスに関する論文・記事や、他者の発表に対して、科学的思考に基づいて質問ができたり、疑問を持ったりすることができる 【学びに向かう力・人間性】 ・さまざまな自然現象に対して「おもしろい」と感じ、自発的にさらなる情報を探索して知識を身につけることができる ・環境問題について関心をもち、科学的思考に基づいた判断や行動ができる
下位学習目標
【知識・技能】 ①遺伝子とそのはたらきについて科学的に説明できる ②生物の進化とそのしくみについて科学的に説明できる 【思考力・判断力・表現力】 ①講義の内容やクラスメイトの発表内容に対して、科学的思考に基づいて質問ができる ②自然現象（生命現象）に関する疑問を解決するために必要な知識は何かを認知できる ③疑問や課題を解決するための論理的な道筋、実験方法を導くことができる。 【学びに向かう力・人間性】 ①　自然現象（生命現象）のおもしろさに気づく ②　授業内で疑問をもったことに対して、自発的にさらなる情報を探索する

<table>
<tr><td>授業日</td><td>1/30(火)</td><td>3 学期授業回数</td><td>3 回目 / 全 5 回</td></tr>
<tr><td>本時 学習目標</td><td colspan="3">主なターゲット【知識・技能】　【思考力・判断力・表現力】②③【学びに向かう力・人間性】①②
本時の具体的な目標
・自分が取り組みたいテーマについての情報を集め、研究プランを立てる
・実験を開始する</td></tr>
<tr><td>時間
授業内容</td><td>5・6 限</td><td colspan="2">先週の各自の進捗を全体で共有した後、研究計画の立案、実験、探究ピアティーチング用のスライド作成を実施。兵庫県立人と自然の博物館研究員の鈴木武先生にアドバイスをいただく。</td></tr>
<tr><td>評価方法</td><td colspan="3">● 実験ノートの評価の観点
<table>
<tr><th>観点</th><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr>
<tr><td>取り組んだ実験、思考内容、考察等が第 3 者にも分かるように書かれているか（質）</td><td>極めてわかりやすくかつ論理的に書かれている</td><td>おおむねわかりやすくかつ論理的に書かれている</td><td>理解が難しい部分がある</td><td>ほとんど内容が伝わらない</td></tr>
<tr><td>書かれている内容は、2 コマの時間を基準として、十分なボリュームか（量）</td><td>＋αの作業に授業時間外にも取り組んでいると判断できる量である</td><td>妥当な量である</td><td>少ない</td><td>ほとんど書けていない</td></tr>
</table>
※基本事項（日付の記載がされているか、時系列に書かれているか、ペン書きがされているか）が守られていない場合は減点</td></tr>
<tr><td>宿題指示</td><td colspan="3">探究ピアティーチング用のスライド案を PDF 化したものを提出。実験ノートの提出は無しとするが、進めた内容は書いておく。</td></tr>
</table>